

世界で活躍する科学者たちが語る “科学”と国際科学オリンピックへのいざない

中学生・高校生の皆さん

この誌面を見ているあなたは、きっと科学や数学が好きですね。スポーツ祭典のオリンピックのように、科学にも若者達の世界的なオリンピックがあることを知っていましたか?参加に必要なのは、科学に強く惹かれる心と負けず嫌いの挑戦心です。やる気と努力でメダルの可能性も生まれ、新しい友達もできるでしょう。社会全体で応援していきますので、あなたの夢を実現してみませんか。

先生方へ

日々、生徒さんの才能を見出し伸ばすことに尽力していらっしゃる先生方には、このような科学好きな生徒さんの背中を押して、挑戦へのお力添えをして頂きますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

小川 温子 国立大学法人お茶の水女子大学名誉教授/国際科学技術コンテスト支援推進委員会 委員長



私は、2006年に開催された“第1回国際科学オリンピック推進委員会”に、縁があって参加しました。当時の江崎玲於奈委員長の「国際科学オリンピックに光をあてて国として取り組むことは、優れた子供ばかりでなく国民全体がもっと科学に興味を持つようになり、国家のため世界のために重要なものです」という言葉を思い出します。高校時代に世界中の仲間と科学への理解度を競いあうチャンスに向かって挑戦できるよう、国も政府も産業界もみんなで応援しています。みなさんの国際科学コンテストへのチャレンジを待っています!

内田 史彦 国立大学法人お茶の水女子大学ジェンダード・イノベーション研究所特任教授
/国際科学技術コンテスト支援推進委員



2018年国際情報オリンピック